

WISE Encrypt 採用事例：エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社 様

クラウド向けデータ暗号化ソリューション「TrustBind/Secure Gateway」にデータの暗号・復号化ライブラリ WISE Encrypt を採用

Salesforce に代表されるパブリッククラウド上のデータを暗号化
検索やソートなどのアプリケーションの機能を損なわずにデータの機密性を確保

事業内容 エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社は、高い技術力と豊富なICTシステムインテグレーションの経験を活かし、幅広い業種、業態のお客様向けに、システム設計・構築・保守・運用などの各種ソリューションサービスを展開。
「先端技術を社会の力に！」をモットーに価値あるソリューションサービスを提供しています。



採用の背景

きっかけは、クラウドを利用している企業が持っていた「不安」でした

企業内の業務システムをクラウドサービスに移行し、活用する企業が増えている昨今、熾烈な市場競争から一歩抜き出るために、SFA（営業支援システム）を利用したいという需要も高まっています。

オンプレミスで構築するより「早く、安価に」利用できるクラウドサービスですが、一方で、個人情報や機密情報がコアとなる SFA システムを「社外（クラウド）に置いて運用しても大丈夫なのか」という不安を感じる企業も少なくありません。

数多くの認定コンサルタントを擁し、Salesforce インテグレーションサービスで多くの実績を持っていたエヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社は、Salesforce を利用している企業から「安心して個人情報、機密情報を活用することができるソリューション」を求められる機会が増え、具体的な解決策を早急に打ち出す必要がありました。

安心を担保するための要件としては、

- Salesforce に格納されるデータは暗号化され、利用企業側でコントロールができる
- 個々の Salesforce 利用企業以外の第 3 者によるデータの閲覧は不可能である
- Salesforce 側のカスタマイズは不要、かつ検索、ソート、メール配信などの機能性を損なわずにセキュリティレベルが高められること

というもので、当初は暗号化エンジンを自社で開発することも念頭にありましたが、開発上の効率やスピードを考慮し市販製品を調査することになりました。

そこで目に留まったのが、ライブラリ（SDK）形式で提供されていた WISE Encrypt でした。



エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社
ソリューション事業推進本部
プラットフォーム・ソリューション事業部
iPaaS ビジネス推進部 部長
小泉 信義 様

システム選定のポイント

お客様の不安が解消できる製品完成までに残された時間はごく僅か

前述の通り、Salesforce を利用されている、もしくはこれから導入を検討されている企業向けに、個人情報や機密情報をセキュアに管理できる付加ソリューションを早急に用意する必要があり、その解答となるものが「TrustBind/Secure Gateway」なのですが、製品企画の段階から提供開始までとして定めた期間は 6 か月でした。

当初は、海外製品を当社で取り扱うことも狙い上上がったのですが、価格面での交渉と、技術面での質問・要望に対して、回答が得られるまでに長い時間を要することが分かりました。これは弊社がサポートサービスレベルを維持していくうえで不安ですし、そもそも「開発期間 6 か月」というスピード感にそぐわないもの、との判断に至りました。

その後、自社で開発する方向で検討を開始し、Salesforce のカスタマイズが不要で、機能性を損なわずにデータを暗号化する、という要件により、「暗号化エンジン+Web リバースプロキシ」という仕様が決まりました。プロキシ部分は、すでに自社の資産にあったので、それに組み合わせられる暗号化エンジン探しとなったわけです。

NTT グループでも暗号化技術は持っていますが、日本語の検索・ソート機能を可能とするものがすぐに使える状態で揃っていなかったことがあり、市販製品をいろいろと調査、検証することとなりました。

要件を満たす製品をスムーズに開発することができた3つの理由

1つ目は、エアアの WISE Encrypt が提供形態としてライブラリという一種の SDK の形を取っていたので、自社のプロキシ技術へのインプリメントが容易でした。

2つ目に、国際的に認証されている暗号化方式、AES が採用されていることです。

3つ目は、エアアが、日本語を対象にした検索、ソートの技術に精通しており、既に多くの実績があることによる安心感です。

検証期間中も価格交渉を含め、こちらから様々な問合せをさせてもらったのですが、時差も無く回答までのレスポンスが早かったこともあり、製品リリース後のサポート、保守体制のことも考慮して、「日本語の検索、ソート技術に精通した日本のベンダー」であるエアアの WISE Encrypt を選択しました。また提供いただいた価格からも、日本市場において共にセキュリティの付加価値を相談できるパートナーであると確信できました。



エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社
ソリューション事業推進本部
プラットフォーム・ソリューション事業部
ビジネスソリューション事業ユニット
主幹エンジニア 山岡 智和 様

ご採用後の効果

クラウドサービスのカスタマイズは不要で機能要件も満たす暗号化ソリューションが完成

何よりも、日本語という言葉の特性が理解された上での、部分一致検索や文字列ソートが正確に実行できることで、クラウドサービスが持つ利便性を損ねることなくデータ保護が可能となり、安全性と利便性のバランスを備えたソリューションとして期限内に提供できたことが大きかったです。

性能については、AES をベースとした高セキュリティ、かつ高速な性能を有し、弊社製品の提供形態である Web リバースプロキシにおいて、必要とされる性能を十分に満たすこともできました。

また現在も継続中ですが、弊社からの機能改善要望についても、エアアは積極的に対応していただいているので、競争力のある製品を提供することができましたし、今後もその競争力を維持していくことも可能だと思っています。

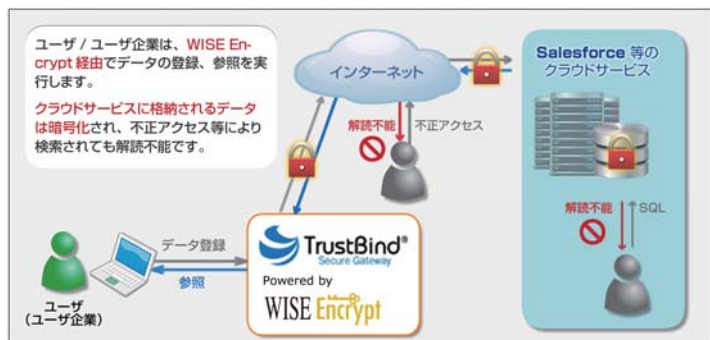
今後の展望

エアアと協業して競争力のある製品を市場へ

セキュリティ商材というものは、複数のソリューションや技術を横断して組み合わせることで、より競争力のあるものに生まれ変わることがあります。今回の例も「暗号化エンジン」と「Web リバースプロキシ」を組み合わせることによって、“クラウドサービス利用者が自身でコントロールできる”クラウドデータの暗号化ソリューション、「TrustBind/Secure Gateway」ができあがりました。

今後は市場の動向をみながら、当該製品のアプライアンス化や SaaS、ASP としての提供といった、供給形態のバリエーションの拡張、Salesforce 以外のクラウドサービスへの対応なども視野に入れて行こうと考えています。

さらに、エアアの他のセキュリティ、クラウド系のソリューションとの組み合わせによる、新しい製品の企画からの協業は、今後も継続させていただきたいと思っています。



システム概要

- 導入製品 WISE Encrypt
- 導入バージョン 1.6.0
- 対応クラウドサービス Salesforce
- 発売開始日 2013年4月1日

WISE Encrypt カスタムプロフィール



社 名：エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社
 事 業 内容：ソフトウェア・情報通信ネットワークの設計、開発、販売、運用
 本社所在地：東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 17 階
 従業員数：1550 名 (2013 年 3 月末現在)
 U R L：http://www.ntts.co.jp/

エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社様、ご協力大変ありがとうございました。



株式会社エアア

東京 〒106-0032 東京都港区六本木2-2-8
 TEL:03-3587-9221 FAX:03-3587-9238
 本社 〒565-0851 大阪府吹田市千里山西5-31-20
 TEL:06-6368-6080 FAX:06-6368-6081
 URL http://www.air.co.jp/